

国語科学習指導案

平成18年11月2日(木) 第3校時
5年3組 指導者 橋本 公世

I 目指す言語能力

目的や意図などに応じて、文章の内容を的確に押さえながら要旨をとらえる能力 (C 読むこと イ)

II 題材名

根拠をもって読み取り、要旨をとらえよう

III 考察

1 児童の実態

本学級は、読書に熱心に取り組む児童が多い。朝の読書の時間・休み時間等の空いた時間になると、進んで読書をしている姿が見られる。しかし、読む本のジャンルは偏っており、ほとんどの児童が物語文を好んで読んでいるように見られる。このことは、国語科の学習にも反映されており、1学期の説明的な文章の単元「サクラソウとトラマルハナバチ」の学習では、進んで発言しようとする児童が、他の活動に比べて少なかった。

そこで、説明的な文章の学習についての意識調査を行った。結果は以下の通りである。

「説明文の学習は好きですか」			
とても好き (5名)	まあまあ好き (10名)	あまり好きではない (10名)	きらい (4名)
〈理由・複数回答可〉 ・文章を読むことが好きだから (10) ・分かるから、得意だから (5) ・説明文が好きだから (6)		・文章を読むことがきらいだから (2) ・分からないから、苦手だから (9) ・説明文がきらいだから (6)	

好きだと感じている児童と好きではないと感じている児童が約半数ずつであることが分かった。また、好きではないと感じている児童では、文章を読むことそのものが嫌いな児童は少なく、授業で分からないと感じさせてしまうことが、児童を説明文嫌いにしてしまうことが分かった。

次に、説明的な文章の学習で、楽しい・好きだと感じる内容、つまらない・嫌いだと感じる内容をそれぞれ聞いてみた。

「楽しい・好き」		内 容	「つまらない・嫌い」	
理 由	人		人	理 由
・いろいろなことが分かるようになるから (11) ・辞書を引くのが楽しい (9)	21	意味調べ	6	・辞書を引くのが苦手 (2) ・何を調べていいか分からない (1)
・簡単、分かるから (12) ・文が読みやすくなるから (3)	22	形式段落に番号を付ける	1	・分からなくなるから (1)
・できる、分かるから (5) ・答えの文を考えるのが楽しい (2)	10	疑問の文を見付ける	7	・分からないから (2)
・できる、分かるから (5) ・疑問の文の答えが知りたいから (1)	11	答えの文を見付ける	5	・分からないから (4)

・分かるから (2)	3	接続語	9	・分からないから (6)
・得意だから (1) ・必要なことが速く分かるようになるから (1)	8	文章を要約する	6	・難しい、できないから (4) ・必要ない文も使ってしまう (1) ・文を短くまとめるのが苦手だから (1)
・得意、分かるから (1) ・文が分かりやすくなりから (1)	9	小見出しをつける	10	・思い付かないから (4)
・分かるから (2) ・文が読みやすくなるから (2)	7	意味段落で分ける	6	・分からないから (4)
・得意、分かるから (3) ・筆者の考えを知りたいから (1)	7	要旨を読み取る	5	・分からないから (5)

以上の結果から、児童は、意味調べや形式段落など、分かった、できた実感しやすいものは好きであることが分かった。また、疑問の文や答えの文を見付けることはできると感じている児童が多いことも分かった。逆に、文章の要約や小見出しなど、文のまとまりから中心となる部分をとらえ、それを短い文や言葉でまとめ直すことは、苦手だと感じている児童が多かった。また、接続語が分からないと感じている児童が多いことから、段落と段落とのつながりや段落と文章との関係がとらえにくくなっていると考えられる。

児童はこれまでに、根拠をもって読み取る学習は行ってきていない。しかし、根拠という言葉は使っていないが、「どうしてそのように読み取ったのかが分かる文を探そう」「読み取ったことが正しいという証拠を文章の中から見つけよう」といった形で、文章のどこに着目したのか、それをどのように考えたのかについて学習してきている。

2 指導の内容と教材のかかわり

①教材名 「ニュース番組作りの現場から」

②指導の内容と教材のかかわり

前単元「サクラソウとトラマルハナバチ」では、キーワード・文末表現に着目して事実と意見の読み分けをしたり、段落ごとの要点をまとめた後、文章全体の構成を考えたりする学習を行った。授業中に繰り返し音読する機会を設けたりノートのまとめ方を工夫したりして、内容理解に努めてきた。

本単元では、まず、ニュース番組制作の現場について書かれた文章を読み取り、ニュース番組制作の手順を知る。また、制作スタッフには工夫や願い・考えがあることを知る。そして、それを知った上で、自分たちもテーマを決めてニュースを発信する。そのため、児童に読み取りの意欲や目的意識をもたせやすい上に、これらの活動を通して、視聴者として接するだけだったニュース番組を多面的に見ることができ、情報活用についての視野を広げていくことができる。また、本教材は、時間の流れに沿って、報道スタッフの役割やニュース番組制作の手順が分かりやすく整理されている。その点で、時系列に沿って大事な事柄に注意して読み取る文章として適している。ニュース番組制作の過程や報道スタッフの意図や願いを表にまとめさせることで、どの段落にどんな内容が書かれているのかを的確に理解させたり、文章構成や要旨をとらえさせたりしていきたい。その際に、読み取りの根拠をしっかりと考えさせることで、説明的な文章の読み取り方にも気付かせていきたい。さらに、ニュース番組作りの過程で、ニュースを分かりやすく伝えるための工夫やニュースにかかる報道スタッフの思いを読み取らせることで、テレビ画面には現れない部分を理解させ、新しい世界を知る喜びを味わわせたい。

③日常の取組

*授業中だけでなく、家庭学習や朝学習の時間等を使って、音読や黙読、視写などをする機会を多く設けていく。

*読み方や意味が分からない語句が文章中にあったときすぐに調べられるように、教室に辞書を常備しておく。

IV 指導の目標・指導計画・評価計画

(8時間予定：本時はその6時間目) ○おおむね満足 ☆十分満足

指導の目標	評価規準		
	国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
ニュース番組作りの過程と報道スタッフの意図や願いを、読み取りの根拠を明確にしながら読み取り、要旨をとらえる。	<ul style="list-style-type: none"> 文章のどこに着目してどのように考えたか、自分なりの根拠をもって読み取るうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ニュース番組作りの過程と報道スタッフの工夫や願いを、根拠をもって読み取っている。 自分で見付けたり友達と教え合ったりした読み取りの根拠を用いて、ニュース番組作りの過程、報道スタッフの工夫や願いを表にまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ニュース番組作りの過程、報道スタッフの工夫や願いを読み取る際に、主語と述語の関係、文末表現、題名に使われている言葉などに着目している。

過程	学習計画	時間	評価項目		
			国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
つかむ	<ul style="list-style-type: none"> 教材文の学習後、実際にニュースを発信する活動を知り、題材全体の見通しをもつ。 漢字の読み方や語句の意味を確認する。 音読や黙読をし、内容の大体をつかむ。 	1	<ul style="list-style-type: none"> ○身の回りの出来事からニュースを探して伝えることに興味をもち、知っていることや伝えたいことを探している。 ☆身の回りの出来事からニュースに関心をもち、知っていることや伝えたいことを探して発表している。(ワークシート・観察) 	<ul style="list-style-type: none"> ○漢字の読み方を確認し、意味の分からない語句を辞書で調べている。 ☆漢字の読み方を確認し、意味の分からない語句を辞書で調べたり、文脈から読み取ったりしている。(観察) 	
	<ul style="list-style-type: none"> 形式段落を確認する。 根拠をもって読み取ることについて知る。 課題提示文とまとめの文から「中」の内容の大体をつかむ。 	1	<ul style="list-style-type: none"> ○課題提示文とまとめの文を読み取り、根拠を確認して「読みの『技』カード1」に書いている。 ☆根拠をもって課題提示文とまとめの文を読み取り、発表したり「読みの『技』カード1」に書いたりしている。(ワークシート・観察) 	<ul style="list-style-type: none"> ○課題提示文とまとめの文を読み取る際に、始め、中、終わりの文章構成、文末表現などに気付いている。 ☆課題提示文とまとめの文を読み取る際に、始め、中、終わりの文章構成、文末表現などに気付き、発表している。(ワークシート・観察) 	
追求する	<ul style="list-style-type: none"> 時系列に沿って書かれた文章であることを確認する。 ②～④段落からニュース番組作りの過程を読み取り、読み取りの根拠を考えて「読みの『技』カード1」に書く。 読み取りの根拠をグループで教え合ったり全体で確認したりする。 	1	<ul style="list-style-type: none"> ○自分なりの根拠を考えながら、ニュース番組作りの過程を読み取るうとしている。 ☆自分なりの根拠を考えながら、ニュース番組作りの過程を読み取るうと進んで友達と教え合ったり発表したりしている。(観察) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ニュース番組作りの過程を読み取り、自分なりの読み取りの根拠を「読みの『技』カード1」に書いている。 ☆ニュース番組作りの過程を読み取り、読み取りの根拠を「読みの『技』カード1」に書き、友達と教え合ったり発表したりしている。(ワークシート・観察) 	
	<ul style="list-style-type: none"> 読み取りの根拠を「読みの『技』カード1」で確認しながら、自力で⑤～⑪段落のニュース番組作りの過程を表にまとめる。 ⑤⑥段落には取材結果が書かれていることを押さえる。 	1	<ul style="list-style-type: none"> ○「読みの『技』カード1」を確認したり、友達と読み取りの根拠を確認したりしながら、自分の力でニュース番組作りの過程を表にまとめている。 ☆読み取りの根拠を基に、自分の力でニュース番組作りの過程を表にまとめている。(ワークシート・観察) 	<ul style="list-style-type: none"> ○報道スタッフの名前や文末表現、段落の初めの文、などに注目すればよいことに気付いている。 ☆報道スタッフの名前や文末表現、段落の初めの文、などに注目すればよいことに気付き、発表している。(ワークシート・観察) 	
広げる	<ul style="list-style-type: none"> ②～⑥段落の報道スタッフの工夫や願いを読み取り、読み取りの根拠を考えて、「読みの『技』カード1」に書く。 	1	<ul style="list-style-type: none"> ○報道スタッフの工夫や願いを読み取り、自分なりの読み取りの根拠を考えたりしようとしている。 ☆報道スタッフの工夫や願いを読み取ったり、いろいろな読み取りの根拠を見付けたたりしようとしている。(観察) 	<ul style="list-style-type: none"> ○報道スタッフの工夫や願いを読み取り、自分なりの読み取りの根拠を「読みの『技』カード1」に書いている。 ☆報道スタッフの工夫や願いを読み取り、いろいろな読み取りの根拠を「読みの『技』カード1」に書いている。(ワークシート) 	

		1	○自分なりの読み取りの根拠をグループで発表し合おうとしている。 ☆読み取りの根拠を進んでグループや全体で発表しようとしている。(観察)	○自分なりの読み取りの根拠をもってグループで発表し、話し合いで分かったことを「読みの『技』カード1」に書いている。 ☆読み取りの根拠を明確にしてグループや全体で発表し、話し合いで分かったことを「読みの『技』カード1」に書いている。 (ワークシート・観察)
		1		○文末表現の違いや「工夫」「分かりやすい」などの言葉に着目すればよいことに気付いている。 ☆文末表現の違いや「工夫」「分かりやすい」などの言葉に着目すればよいことに気付いて発表している。 (ワークシート・観察)
まとめ		1	○読み取りの根拠を「読みの『技』カード2」にまとめている。 ☆読み取りの根拠を「読みの『技』カード2」にまとめ、説明的な文章を読み取ることについての理解を深めている。 (ワークシート)	

V 学習指導の方針及び配慮事項

1 つかむ過程において

- ・本題材を学習する意欲や目的意識をもたせるために、本単元学習後に自分たちがニュースを発信する活動を行うことを、導入の段階で伝える。
- ・正確に内容を読み取るために、学習に入る前から音読・黙読を繰り返し、大まかな内容を把握させる。
- ・分からない語句については、辞書で調べるとともに、文脈から意味をつかませるようにし、内容を正確に読み取る力を身に付けさせる。
- ・内容の大体をつかむ際に、キーワードとなる報道スタッフの名前について意図的に発問して理解させ、特集作りの過程を読み取る際に着目できるようにする。
- ・中学年までに学習した課題提示文とまとめの文を読み取る際に、文章のどこに着目し、どのように考えて読み取ってきたのかを思い出させ、根拠をもって読み取るということについて共通理解を図る。
- ・課題提示文とまとめの文を先に読み取らせ、「中」の内容を予想させることで、「始め」「中」「終わり」の文章構成に気付かせるとともに、「中」で読み取っていくことが明確になるようにする。
- ・「中」の文で読み取っていくことをつかむ際に、自分たちがニュースを発信するために何が分かればいいのかという観点で考えさせ、目的意識をもってニュース番組作りの過程、報道スタッフの工夫や願いを読み取っていけるようにする。
- ・読み取る際に着目した言葉や文に線を引かせ、根拠をもって読み取ることを意識付ける。

2 追求する過程において

- ・自分の力で読み取っていく力を付けるために、いつも根拠をもって読み取り「読みの『技』カード1」に書いていくことを押さえる。
- ・段落相互の関係を視覚的に捉えさせるために、ニュース作りの過程、報道スタッフの意図や願いなど、読み取った内容を表にまとめさせる。
- ・根拠をもって読み取ることが確実にできるようにするために、ニュース番組作りの過程を読み取る際には、自分の考えを持つ時間を十分に確保し、教科書や「読みの『技』カード」の拡大図を用いて一斉指導での確認をしっかりと行う。

3 広げる過程において

- ・「自分の考えをもつ→友だちと発表し合う→全体で確認する→自力で課題を解決する」という過程で学習を進めることで、根拠をもって読み取る力が身に付くようにする。
- ・読み取りの根拠を友だちと発表し合う活動を取り入れることで、自信をもったり、自分では考えなかった根拠に気付いたりできるようにする。
- ・根拠を教え合う活動は、3～4人のグループで行い、司会や発表の順番、発表内容などを明確にし、一人一人が発表する場を保証し、活発な話し合いが行えるようにする。
- ・友だちと教え合う活動を通して、自分にはない考えがあったら、「読みの『技』カード」に書き足していくことを押さえる。
- ・自力で課題を解決する活動に入る前に、教科書や「読みの『技』カード」の拡大図を用いて一斉指導での確認をしっかりと行い、見つけた根拠を用いて読み取りを進めていけるようにする。
- ・自力で読み取りを進めていく中で新たに考えた根拠があれば、「読みの『技』カード」に書き加えさせるようにする。
- ・読み取りが苦手な児童も自分の力で学習を進めていけるように、必要に応じて友達同士で学び合う活動を取り入れるようにする。

4 まとめる過程において

- ・これまでに見つけた読み取りの根拠を「読みの『技』カード2」にまとめ、根拠をもって読み取る力の定着を図る。

VI 本時の学習

- ねらい 報道スタッフの工夫や願い、考えを読み取った根拠を友だちと発表し合い、いろいろな読み取りの根拠に気付くことができる。

- 授業の視点

読み取りの根拠についてグループや学級全体で話し合ったことは、いろいろな読み取りの根拠に気付く上で有効であったか。

- 本時の展開

過程	学習活動	時間	学習の支援及び留意事項	評価項目
つかむ	1. 学習課題を知る。	10		
	2. ②～④段落を音読する。 3. 前時に読み取った内容と読み取りの根拠を思い出し、自分の考えをもつ。		<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">ニュース番組を作る報道スタッフの工夫や願い、考えを読み取ろう どのように読み取ったのか、根拠をはっきりさせよう</p> <p>○内容を意識して、しっかりと声を出して音読できるようにする。</p> <p>○「読みの『技』カード1」を見直させ、報道スタッフの意図や願いと、それを読み取った根拠を思い起こさせる。</p> <p>○友だちと根拠を発表し合う際に、自分の考えをしっかりと発表できるように、発表の観点を明確に示し、考えをまとめさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>〔発表の観点〕 「報道スタッフの工夫や願い、考え」 「読み取った根拠や着目した言葉」</p> </div>	

<p>広 げ る</p>	<p>4. 読み取りの根拠を友達同士で発表し合う。</p>	<p>20</p>	<p>○全員が自分なりの読み取りの根拠を発表できる場を保証し、読み取りの根拠について考えを深められるように、話し合いは3～4人のグループで行い、発表の方法を明確に示す。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>〈話し合いの仕方〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・司会は、「報道スタッフの工夫や願い、考え」「読み取った根拠や着目した言葉」を時計回りに全員に発表させる。 ・全員が発表し終わったら、司会を中心に班の考えをまとめる。 ・班で考えがひとつにまとまらなかったら、出た考えをそのまま発表させ、全体で話し合うようにする。 </div> <p>○友達が見付けた読み取りの根拠を「読みの『技』カード1」に記入させ、いろいろな読み取りの根拠に気付き、考えを深められるようにする。</p> <p>○話し合いが終わった班から、自分が見付けなかった根拠を「読みの『技』カード1」に書き加えさせる。</p> <p>○教科書を拡大したものを掲示しておき、話し合いが早く終わった班の司会に、「報道スタッフの工夫や願い、考え」と「着目した言葉」に線を引かせる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>《予想される根拠》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「おどろきました」という言葉があるから ・「～と考えて」という言葉があるから ・「～か」という言葉がついているから ・「～しよう」という言葉があるから ・「大切なのは」と書いてあるから ・文末が「～しました。」「～します。」になっていないから、過程ではない。 </div>	<p>【関心・意欲・態度】</p> <p>○自分なりの読み取りの根拠をグループで発表し合おうとしている。</p> <p>☆読み取りの根拠を進んでグループや全体で発表しようとしている。 (観察)</p> <p>【読むこと】</p> <p>○自分なりの読み取りの根拠をもってグループで発表し、話し合いで分かったことを「読みの『技』カード1」に書いている。</p> <p>☆読み取りの根拠を明確にしてグループや全体で発表し、話し合いで分かったことを「読みの『技』カード1」に書いている。 (ワークシート・観察)</p>
<p>ま と め る</p>	<p>5. 読み取りの根拠を全体で確認する。</p> <p>6. 次時の予告をする。</p>	<p>15</p>	<p>○グループの司会に、「報道スタッフの工夫や願い、考え」「読み取った根拠や着目した言葉」を発表させる。</p> <p>○「読みの『技』カード」の拡大図を用いて児童が発表した読み取りの根拠を確認し、文のどこに着目しそれをどのように考えればいいのか理解できるようにする。</p> <p>○正しい読み取りの根拠を確認し、自分の力で読み取りを進めていけるようにする。</p> <p>○次時は、本時で見付けた根拠を用いて自分の力で報道スタッフの工夫や願いを表にまとめていくことを知らせ、見通しをもって学習できるようにする。</p>	

スタッフの 工夫や願い・考え	特集作りの過程	まとめの文	投げかけの文	課題
				根拠 (着目した言葉や文・読み取った理由)
				友だちが見つけた根拠

五年 組 氏名

「読みの『**技**』カード」

根拠こんきよを考えながら読み取ろう

スタッフの 工夫や願い・考え	特集作りの過程	まとめの文	投げかけの文	課題
				根拠 (着目した言葉や文・読み取った理由)
				感想・意見

五年 組 氏名

「読みの『**技**』カード二」 読み取りの根拠こんきよをまとめよう

